

平成29年度第2回下野市環境審議会 議事録

日 時 平成29年10月31日（火） 午後2時～4時
場 所 下野市役所庁舎 203会議室
出席委員 中村祐司会長、安田眞一委員、野沢定雄委員、篠崎安史委員、金田幸子委員、
隅谷サヨ子委員、岡本秀樹委員、増田崇委員、熊田裕子委員
欠席者 後藤勲委員、青柳庄一委員、渡邊欣宥委員、桑名満委員
事務局 手塚市民生活部長、福田環境課長、塩濱主幹、早乙女主幹、杉山副主幹、
古谷主事

○次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題
 - (1) 平成28年度下野市環境基本計画（第Ⅲ編及び第Ⅳ編）実績報告書及び平成29年度実施計画について
 - 第Ⅲ編 実績報告書及び実施計画書（資料1-1）
 - 第Ⅳ編 実績報告書及び実施計画書（資料1-2）
 - (2) 下野市環境状況報告書「しもつけの環境」について（資料2）
 - (3) 下野市環境基本計画の中間見直し（案）について
 - 第Ⅲ編 みんなで協力して進めていく取り組み（資料3-1）
 - 第Ⅳ編 市が進めていく取り組み（資料3-2）
 - (4) 今後のスケジュールについて（資料4）
 - (5) その他
- 4 閉会

○開会

（事務局） 平成29年度第2回下野市環境審議会を開会する。

○議事

- (1) 平成28年度下野市環境基本計画（第Ⅲ編及び第Ⅳ編）実績報告書及び平成29年度実施計画について

（事務局） 資料1-1、1-2に基づき説明。

○各課からの取組結果を取りまとめた資料である。平成25年度から数字で表せるものに関しては数値化し、それ以外については文章で記載している。全体で35ページ程度あり、実施されたものについて掲載している。資料1-2は市で取り組んだ事業についての報告であり、約120項目ある。

（中村会長） 資料1-1、1-2につきまして何か意見がありましたら、お願いします。

- (野沢委員) 前回に比べて、まとめ方は非常に分かりやすいと思った。ただ、第Ⅲ編とⅣ編のフォーマットが違うところが気になった。同じようなもののほうが良いのでは。あえて違うのは、何かあるのか。
- (事務局) 第Ⅲ編は指標として取り組みの目安があるので、これに基づいて結果の数値化を行っている。第Ⅳ編は取り組みの目安がなく、「こういうようにやりなさい」といった指標しかない。そのため、数値化しないで、文章でまとめている。
- (安田委員) 第Ⅳ編において課によってだぶっているところは省略し、同じような項目は1ページにまとめるとページ数が少なくなり、見やすいと思う。また、垣根を越えて第Ⅲ編とだぶっている項目もあるので、確認をお願いします。また、第Ⅳ編の各課の担当部分が2～3行しか書いていないのはいかがなものか。中身が薄いと思われても仕方がないのでは。
- (岡本委員) 第Ⅳ編は公表しないので、深く捉えなくてもいいのではないか。
- (野沢委員) 第Ⅳ編は担当課ごとに取りまとめをしているので、同じような項目があってもおかしくないと思う。
- (安田委員) 第Ⅲ編の12～15ページの一番上の表が全く同じである。まだ値が定まっていないところは空欄にすべき。
- (事務局) ご指摘のあった表だが、12ページは環境課の指標である。13、14ページは、その他の指標の市の施設への太陽光発電の導入件数があがってこないといけない。入れ違いができていないので、環境課の指標が載っている状態である。
- (安田委員) また、第Ⅲ編の26ページの達成率が「増加」という文字になりますが、%にすべきではないのか。
- (事務局) 指標の数字だが、年度途中で終わっているものは、それ以降は空欄にしている。また、推進中のものは文章で表現している。
- (安田委員) 22ページの表の平成25、26年度の達成率は出せるのでは。
- (事務局) 22ページの表の値だが、環境基本計画で示されているもののみ、値がはいっている。
- (野沢委員) 第Ⅲ編全てに言えることだが、表の中の横棒のところは、数値をいれるべき。空欄にならざるを得ないところは中間値をいれるなど工夫をしてはどうか。そうすれば、表の値がより多く埋まると思う。

(2) 下野市環境状況報告書「しもつけの環境」について

- (事務局) 資料2に基づき説明。
- 「しもつけの環境」では、活動報告や取組状況について一覧に取りまとめている。今後も精査しながらまとめていきたいと思うので、検討の程、よろしく願います。
- (中村会長) 皆さんいかがか。
- (隅谷委員) 「しもつけの環境」をみていて、表が何の説明をしているのか分からない。表のタイトルを枠組みの中からだしたほうが分かりやすいのでは。

また、ページがまたがると余計に分かりづらいので、そこも注意を払ってほしい。

- (野沢委員) ページのまたがりもあるが、今のままだと平成29年度の主な実施内容の部分が目立つので、指標→平成28年度の取組状況→平成29年度の主な実施内容の順できちんと整理してほしい。
- (岡本委員) 話が変わってしまうのだが、目次が大ざっぱすぎるので、もう少し細かく記載をしてほしい。
- (安田委員) 年度を重ねると同じことの積み重ねになってしまうので、平成29年度の主な実施内容のところは不要であるとする。
- (中村会長) 一旦整理しましょうか。表の枠については、どう思うか。
- (事務局) 皆さん分かりづらいとおっしゃるので、修正・見直しをしていきたい。
- (中村会長) 安田委員の指摘に関しては、どのように考えるか。
- (事務局) 具体的には、協働の取り組みの中に書かれていることがそこに該当していないということか。
- (安田委員) 同じ項目の中で市と協働で分けているが、所詮は市がやるので分ける必要はないのではないか。
- (野村委員) 以前は分けたほうが良いという意見が多かったので分けたと思う。安田委員は、報告書は結果なのでそこまで分ける必要はないのではということをおっしゃったのではないか。今朝の新聞に協働とは、できることは自分でやり、どうしても駄目なことは行政が介入すると書いてあった。今の分け方でもいいが、少しごちゃ混ぜになっているというのが個人的な意見。また、協働について本来は市民会議が取り組むべきであるが、うまく機能していないため、そういう部分を含めると分けられるところは分けるべきであると思う。
- (事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。今回の「しもつけの環境」は市民の方に分かりやすくということを目的に作成している。基本的には平成25年度の環境基本計画を基盤としているので、市の取り組みと協働での取り組みを分けさせていただいている。
- (中村会長) ありがとうございます。

(3) 下野市環境基本計画の中間見直し(案)について

(事務局) 資料3-1、3-2に基づき説明。

○協働プロジェクトの取組は60項目あったものを、統合と新規で47項目としている。第IV編に移行しているものもある。赤い文字は新しく指標を取り換えたもの、青い文字は新規項目として表示している。

○市が進めていく取り組みは、約270項目あったものを統合・整理し115項目としている。新規項目はない。

- (中村会長) これは前回のときにあまりにも多すぎたため簡素にしたもの。いかがか。
- (野沢委員) 例えば資料3-1の3ページの50、環境学習の充実なら、52の環境学習への参加者数に統合されているということ。

(中村会長) その他はいかがか。

(野沢委員) 下野市のPRとして誇れるものをいれると他市との差別化もはかれ、より良くなるのではないか。

(中村会長) 他に質問や意見がなければ次の議題に移る。

(4) 今後のスケジュールについて

(事務局) 資料4に基づき説明。

○第3回環境審議会は1月に予定しており、計画改訂版の案を提示し、その後、パブリックコメントを実施し、公表したい。

(中村会長) 質問や意見がなければ次の議題に移る。

(5) その他

(野沢委員) しもつけ環境市民会議の強化が必要であると思う。環境市民会議をより浸透させていきたいと考えている。環境に関する意見を全て市民会議に集約し、そこから環境課などへ発信していければより物事がスムーズに進むのではないか。

(中村会長) 理念は素晴らしいが、市民会議は立ち上げるまでが難しいし、それを周囲に知ってもらうことは難しい。長い目で市民会議を育てていくことが大切である。

(岡本委員) 現在の市民会議は個々で動いているかたちなので、幅広い方々に参加してもらえるようになるといい。いろんな活動ができるようになればなと思う。

(安田委員) ただ待っていても何も生まれないので、どういう支援が必要なのか等、考え発信していくことが大切。

(野沢委員) 現在の市民会議では事務局が話題を出し、それに基づいて議論をしている。本来は市民会議が中心にならないといけないと思うので、今後は広報等で一般市民に意見を募集し、それについてテーマを決めて議論していければなと考えている。

(中村会長) 事務局と市民会議の方々との連携が必要。私だったら逆の考え方で、事務局の助けを得て市民会議なりのメッセージを決め、それを催し物等で伝えることで幅広い年代の方に存在を知ってもらい、関心を高めてもらうのもいいのではないかと思う。内情は難しいところもあるが。

○閉会

(事務局) 以上をもって第2回下野市環境審議会を閉会する。